

# OB会通信

2012年度 第一号  
大阪府立大学陸上競技部

拝啓

梅雨に入り、初夏を感じさせる蒸し暑い日が続いています。OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。我々陸上部員一同は来たる首都大戦・各選手権大会に向けて日々練習に励んでおります。

さて、この度は大阪インカレ、三大戦、関西インカレの結果についてご報告させていただきます。

敬具



三大戦集合写真（金岡陸上競技場にて） 2012年4月22日

# 目次

## 1. 主将あいさつ

## 2. 主要試合結果報告

第60回大阪学生陸上競技対校選手権大会

第57回大阪三大学対校陸上競技大会

第89回関西学生陸上競技対校選手権大会

## 3. その他の試合の結果

## 4. 今後の目標と反省

# 1. 主将あいさつ

OB通信ではじめて接点をもつOB・OGの方もいらっしゃると思いますのでこの場をもってあいさつをさせていただきたいと思います。はじめまして。今年1年間主将を務めさせていただくことになりました前山龍平です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回の第1回OB通信は大阪インカレ、大阪三大学対校戦、関西インカレを中心にご報告させていただきます。

シーズンインに向けて選手、マネージャー共に力を合わせ、厳しい冬期練習をしっかりと乗り越えてきました。香川県の丸亀で行いました大阪市立大学、和歌山大学との合同合宿もとても有意義なものとなりました。

4月の初旬にありました大阪インカレではシーズンはじめの試合だったこともあり際立った結果は見受けられませんでした。その後の大阪三大学対校戦では私たちが主管校でしたが、大きな事故がおきることもなく無事終えることができました。あいにくの雨の中、選手一人一人が競技をしながら準備、片付け、補助員など精一杯運営に尽力出来た結果なのではないかと思います。

そして、4月25日、5月10日から13日で関西インカレが例年とは異なり、長居第一競技場で開催されました。また今年の関西インカレも去年同様トラックの部が4日連続で行われ、なかなかハードなスケジュールだったと思います。そんな中でも4×100m Rでは初の41秒台で府大新、110mHでは第2位、三段跳では府大で第2位、3位をとることができました。また、走幅跳でも第3位、走高跳では優勝をすることもできました。他にも自己ベストを出したりなど、たくさんの活躍をみせてくれました。

また、このたび、やる気に満ち溢れた一回生もたくさん入ってきてくれました。この新入生も含め、これからのシーズンもチーム一丸となって努力していきますので、府大陸上部を見守ってくださるようどうぞよろしくお願いいたします。

文責 前山 龍平 (3)

## 2. 主要試合結果報告

☆は自己ベスト、★は大学ベスト

### 第60回大阪学生陸上競技対校選手権大会

4月5日、6日 長居第二競技場

グランドコンディション

4月5日 晴れ 18.7℃

4月6日 晴れ一時雨 16.4℃

### 男子100m

内賀嶋 陽史 (3) 予 11" 29 (-0.4m) (3着)

準 11" 21 (+0.5m) (6着)

保科 政幸 (3) 予 11" 72 (-1.7m) (5着)

前山 龍平 (3) DNS

予選、内賀嶋(3)はスタートはまずまずだったものの持ち味である後半の強さを発揮して組で3着となり、準決勝に進出した。タイムは、悪天候だったためにベストからは少し遅いタイムだった。保科(3)はパワーを生かした力強い走りであったが、タイムが伸びず組で5着という結果になってしまった。前山(3)は前日行われた200m走で足を痛めてしまい棄権した。準決勝、内賀嶋は後半からの粘りを発揮したものの、スタートでの遅れが響いてしまい6着という結果に終わった。

文責 早川 哲史 (2)

## 男子200m

前山 龍平 (3) 予 23" 22 (-1.4m) (5着)  
準 DNS

樫本 涼 (2) 予 24" 31 (+2.3m) (4着)

早川 哲史 (2) 予 23" 79 (-1.1m) (6着)

早川 (2) はいいスタートを決めたがホームストレートで力んでしまった。樫本 (2) は思うように走れなかったようで本人も悔やんでいた。前山 (3) はアップで足を痛めていたようだが痛いなりに走れたようで関カレB標準を切る結果となった。

文責 中野 友揮 (2)

## 男子400m

神農 伸治 (3) 予 57" 54 (9着)

高原 裕樹 (3) 予 56" 01 (6着)

松本 和也 (M2) DNS

神農 (3) は序盤から果敢に攻めていったが、中盤でばててしまい、他の選手に差をつけられてしまった。結果的にばててしまいはしたが、序盤の勢いは決して悪くはなかったため、今後の成長に期待がかかる。高原 (3) は序盤スピードに乗り、周りの選手に付いていくが、200mを過ぎたあたりから若干失速を始め徐々に差を開けられる。ラスト100mはスピードが落ち苦しいレースとなった。

文責 樫本 涼 (2) 川越 俊幸 (2)

## 男子800m

甲木 孝弘 (4) 予 1' 58" 19☆ (2着) 歴代12位!

佐原 敏基 (3) 予 2' 18" 30 (6着)

中野 友揮 (2) 予 2' 01" 99 (5着)

中野 (2) は自身の目標でもあった関カレのB標準記録を何とか突破するも、まだ満足 of いく結果ではなかったようだ。関カレではその雪辱をぜひとも晴らしてもらいたい。佐原 (3) は1周目では集団に付いていくも、2周目に入った途端に一気にペースが落ち、集団から1人離される展開となった。甲木 (4) は最近の練習不足が懸念されていたが、翌日の5000mを含め2つの自己ベスト更新をし、新シーズンに向けて幸先の良いスタートとなった。

文責 北川 直昭 (2)

## 男子1500m

甲木 孝弘 (4) 決 4' 06" 98 (第8位)

佐原 敏基 (3) 決 4' 39" 83 (35位)

中野 友揮 (2) 決 4' 18" 26 (24位)

2組目に出場した佐原(3)と中野(2)は、中盤まで集団に付き、中野は最後まで粘るも関カレB標準まであと3秒という悔しい結果となり、佐原は前日の800mがたたっ  
てか終盤スピードが落ち、思うような走りができなかった。2人は今回の結果を重く受け  
止めているようで、これからの活躍に期待したい。3組目に出場した甲木(4)は、熱戦  
の中で序盤は集団後部に付くが徐々にその順位を上げ、結果総合8位となった。関カレA  
標準まであと1秒という結果だが、ベストには届いておらず、本人にとっても納得のいく  
ものではないようで、これからも期待大である。

文責 高尾 信成 (2)



1500mを走る佐原(3)(写真左から3番目)と中野(2)(写真左から4番目)

## **男子5000m**

甲木 孝弘 (4) 決 15' 22" 92☆ (10位) 歴代8位!

遠藤 耀司 (2) 決 16' 54" 22☆ (25位)

北川 直昭 (2) 決 17' 12" 99 (26位)

北川 (2) は、最初の1000mを3分13秒で走り、その後1周80秒ペースをコンスタントに刻み、このまま自己ベストにつながるかと思われたが、3000m付近で失速。終盤にやや持ち直すも、自己ベストにはほど遠い結果に終わってしまった。今回の結果を切実に受け止め、今後の練習に活かしてもらいたい。一方、遠藤 (2) は序盤から終盤まで北川の後ろにつき、中盤で離されそうになるも安定した走りを見せ、ラストの1000mからロングスパートをかけ、北川を抜かし見事自己ベストを大きく更新し、16分台をたたき出した。春休みの練習の成果が遺憾なく発揮された走りであった。今後の成長にも期待がかかる。甲木 (4) は先頭集団についていき、3分04秒で1000mを回り良いスタートをきった。その後も先頭集団についていき安定した走りを見せたが、ラスト2000mで先頭が上げ始めたため、やや厳しい展開になった。しかし、最後まで驚異的な粘りを見せ、自己ベストを10秒近く更新した。

文責 小槻 日出夫 (2)

## **男子10000m**

北川 拓哉 (M1) 決 34' 23" 33 (13位)

小槻 日出夫 (2) 決 33' 40" 37☆ (11位)

高尾 信成 (2) 決 37' 04" 79☆ (23位)

北川 (M1) は第二集団の先頭を走っていたが、4000mで抜かされた集団についていけず悔しい結果となった。高尾 (2)、小槻 (2) 両者ともに冬季の走りこみの成果を出し、両者ともに自己ベスト更新となった。これからのシーズンでさらなる記録向上に期待したい。

文責 遠藤 耀司 (2)

## 男子 1 1 0 m H

内賀嶋 陽史 (3) 予 14" 84 (+1.6m) (2着)  
決 14" 77 (-0.7m) (第4位)

内賀嶋 (3) はスタート良く飛び出し、その勢いで1台目、2台目と軽快にハードルを跳び越えていく。中盤少し失速するも後半持ち直し、隣のレーンの選手と競り合い、2着でゴール。決勝進出を決めた。決勝では、同日行われた100mの影響もあってか少し疲れが見えたが、それでも力強い走りを見せ、予選よりも速いタイムを記録した。今季の自己ベスト更新に期待がかかる。

文責 大黒 貴弘 (2)

## 男子 4 0 0 m H

小川 潤 (3) 予 58" 25 (4着) 歴代10位!  
川越 俊幸 (2) 予 57" 40 (4着) 歴代8位!

川越 (2) は目標としていたハードル間の歩数などはほぼ達成できたようだ。しかし後半失速したためわずかに関カレの標準を切ることができなかった。小川 (3) は大学ベストに近い走りを見せたものの、最初の歩数が合わず全体的にキレのない走りとなってしまった。技術や走力の向上などで、両者の今後の活躍を期待したい。

文責 宝徳 奈津美 (2)

## 男子 3 0 0 0 m S C

北川 拓哉 (M1) 決 10' 00" 02 (9位)  
山下 翔平 (4) 決 10' 47" 72 (14位)

1組目に出場した山下 (4) は、怪我明けということもあってか全体を通して一人で走るという苦しい展開となり、残念ながらベストには遠い結果となった。2組目に出場した北川 (M1) は、レベルの高いメンバーの中で第2集団に付き、中盤に1人その集団を引き離す走りを見せるも維持できず、最終的に団子状態でゴールした。2人とも満足のいく結果が出なただけにこれからも頑張ってもらいたい。

文責 高尾 信成 (2)



## **男子4×100mR**

大阪府立大学（早川（2）－内賀嶋（3）－前山（3）－保科（3））

予 42" 77 （3着）歴代9位！

決 DNS

天候はよかったものの、風が強く吹く中でのレースとなった。早川（2）が好調なスタートを切り内賀嶋（3）、前山（3）と好調にバトンパスを成功させた。その後の前山・保科（3）間でのバトンパスがうまくいかなかったものの、保科が粘りのある走りを見せ、42" 77と組3着でのゴールとなり、決勝進出を果たした。残念ながら前山の足の怪我で決勝は辞退した。

文責 宝徳 奈津美（2）

## **男子4×400mR**

大阪府立大学（川越（2）－早川（2）－樫本（2）－小川（2））

予 3' 29" 20 （8着）

1走の川越はラップ50秒の好走を見せ、いい順位でバトンを繋いだ。2走の早川は序盤からスピードをだし、積極的なレース展開だった。3走の樫本は前走者との差を詰めきれずにバトンを繋ぐ結果となった。4走の小川は終始一人で走る状況になってしまいラストで失速してしまった。

文責 中野 友揮（2）

## **男子走高跳**

渡部 翔太（4） NM

田中 英和（3） 2m00 （第1位！）

走高跳は雨の中での競技であった。渡部（4）は、忙しい中での出場であり、十分な練習がつめていなかったのか、腰があまり浮かず最初の高さ1m85で3ペケに終わった。田中（3）は、雨と低い気温に負けない力強い跳躍を見せ、1m95までを1回の失敗跳躍のみで成功させる。2m00は1本目、2本目と失敗するも、3本目に飛び越えこの時点で優勝が決定。自己ベストである2m05に挑戦したが、成功とはならなかった。しかし、本人は満足そうであった。好調を維持しているため、今後の活躍に期待したい。

文責 大黒 貴弘（2）

## 男子走幅跳

保科 政幸 (3) NM

矢野 達哉 (3) 5 m 3 5 (+1.9 m) (29位)

大黒 貴弘 (2) 6 m 3 7 (+0.8 m) (20位)

保科 (3) は、4 × 100 mR 後すぐの競技であったためか疲れが見え、この日の強風の影響もあってかファール3つという悔しい結果であった。矢野 (3) は、体のキレは良かったものの足が合わず、2本目の不完全な着地による5 m 3 5 以外はファールに終わった。大黒 (2) は、踏み切りに苦しみ、1本目に6 m 3 7 を跳ぶも、その後はファール2つと振るわなかった。

文責 大黒 貴弘 (2)

## 男子三段跳

野本 健太 (3) 1 2 m 4 5 (+0.9 m) (21位)

矢野 達哉 (3) 1 3 m 9 3 (+0.5 m) (14位)

大黒 貴弘 (2) 1 2 m 7 3 ☆ (+0.2 m) (20位)

矢野 (3) は1、2本目では動きが固く、持ち前のバネが生かせず納得のいく跳躍とはならなかった。しかし、3本目にはファールであったものの、この日で最も良い跳躍を見せた。大黒 (2) は初出場であったが、1本目こそファールしたものの、2本目では恐怖心がなくなったのか、思い切った跳躍を見せて記録を残した。野本 (3) は助走が詰まってしまう、勢いを跳躍に生かせず、苦戦を強いられた。結果が良かったとは言えないが、まだシーズン序盤であるので、今後の更なる躍進に期待したい。

文責 仲西 穂高 (2)

## 男子砲丸投

奥野 照基 (3) 1 0 m 0 7 ☆ (12位)

仲西 穂高 (2) 7 m 4 6 ☆ (14位)

奥野 (3) は一投目から安定した記録を残し勢いをつけ、4投目には10 m 0 7 という自己ベスト更新かつ関カレB標準である10 mを突破した。仲西 (2) は体が合わなかったため、助走をせずに投げたが、7 m 4 6 で本人の目標である8 mには届かず課題の残る結果となった。両者ともに専門ではない種目だが、今後に期待できる記録となった。

文責 遠藤 耀司 (2)

## 女子100m

草西 佑美 (3) 予 15" 43 (-0.7m) (9着)

草西 (3) はスタートしてすぐ上体が起き上がってしまい、うまく加速しきれなかったが、中盤はスピードにのり、そのままゴールまで駆け抜けた。今回は惜しくも自己ベストとはならなかったが、今後のベスト更新に期待である。

文責 大黒 貴弘 (2)

## 女子200m

石井 あかり (3) 予 32" 17 (-2.5m) (5着)

宝徳 奈津美 (2) 予 28" 07☆ (-2.3m) (5着) 歴代4位!

石井 (3) はスタートでうまくスピードに乗ることができず、そのまま中盤、後半と苦しい走りとなり、自己ベストからは遠い記録に終わった。宝徳 (2) は専門の400mよりも短い距離ではあったが、持ち前のスピードと後半の強さを如何なく発揮し、府大歴代4位の好タイムを記録した。今後の可能性を期待させる、良い走りであった。

文責 大黒 貴弘 (2)

## 女子400m

宝徳 奈津美 (2) 予 1' 01" 88☆ (6着) 歴代3位!

宝徳 (2) はレベルの高い組だったこともあり、序盤は他の選手に置いて行かれるような形になってしまったが、最後まで粘り強い走りを見せて自己ベストを更新し、無事に関西インカレのB標準を突破することができた。今回、肌寒い気温の中での試合で好記録をマークしただけに、今後の試合ではさらなる記録更新が期待できる。

文責 樫本 涼 (2)

## 女子1500m

小池 徳子 (4) 決 5' 47" 53 (22位)

松本 迪子 (2) DNS

小池 (4) は、序盤は集団に付くも、中盤から離されそのまま1人で走るという苦しい展開となり、残念ながらベストまで10秒ほど届かなかった。本人は1500mに出場するのは最後まで語っていただけに悔しい結果となった。これをまた1つの糧としてこれからも頑張ってもらいたい。

文責 高尾 信成 (2)

## 女子5000m

小池 徳子（4） 決 21' 01" 47 （10位）

西村 実希子（4） 決 19' 55" 38 （第8位）

松本 迪子（2） DNS

西村（4）は最初少し出遅れ、集団の後ろを走る。2000m付近で前の選手を抜かし、安定した走りを見せるも、前方の集団には追いつかず、苦しいレースとなった。小池（4）は序盤に集団から離れてしまい終始厳しいレース展開となった。終盤もなかなかペースが上がらず自己ベストの更新にはこぎ着けなかった。次回良い走りをしてくれることに期待したい。

文責 小槻 日出夫（2）

《応援・競技に参加して頂いたOB・OGの皆様》

松本さん、野々口さん、北川さん

お忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

# 第57回大阪三大学対校陸上競技大会

4月22日 金岡公園陸上競技場

グランドコンディション 雨

## 男子100m

大会記録 10" 95

(-0.8m)

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 脇田 和史 (阪大) 11" 15 | 2. 内賀嶋 陽史 (府大) 11" 16 |
| 3. 長野 良哉 (阪大) 11" 25 | 4. 大塚 健広 (市大) 11" 35  |
| 5. 早川 哲史 (府大) 11" 49 | 6. 森 拓土 (市大) 11" 63   |

府大 7点 阪大 10点 市大 4点

雨の降る中に行われた100mは、スタートで少し早川(2)が遅れる。その後早川は力みで立て直すことができずに5位と悔しい結果に終わった。中盤で力走を見せた内賀嶋(3)は後半に先頭に食らいつくが惜しくも2位に終わった。

文責 川越 俊幸(2)

## 男子400m

大会記録 48" 39

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 亀坂 晃司 (市大) 49" 03 | 2. 高橋 勇理 (阪大) 49" 61 |
| 3. 寺尾 終斗 (市大) 50" 67 | 4. 松本 和也 (府大) 51" 12 |
| 5. 鈴木 友之 (阪大) 51" 15 | 6. 川越 俊幸 (府大) 51" 78 |

府大 4点 阪大 7点 市大 10点

気温が低く、雨も降り続けているというコンディションの中、レースが行われた。松本(M2)は、序盤はまずまずの出だしであったが、後半でややスピードを落とし、他の選手に抜かれてしまった。しかしながら、最後まで粘り強い走り続け、僅かな差で後続に競り勝ち4位につけることができた。川越(2)は、やや抑え気味に走り始め、安定した走りを見せたが、最後にスピードを上げることが出来ず、悔しい結果になってしまった。コンディションが良くなかったこともあってか、両名とも自己ベストからはほど遠い結果となってしまったが、手応えはあったようなので、今後のレースに期待したい。

文責 樫本 涼(2)

## 男子1500m

大会記録 4' 02" 76

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 甲木 孝弘 (府大) 4' 07" 33 | 2. 山根 裕樹 (阪大) 4' 07" 59 |
| 3. 松井 健太 (阪大) 4' 07" 87 | 4. 中野 友揮 (府大) 4' 14" 52 |
| 5. 森脇 健介 (市大) 4' 15" 00 | 6. 前田 雄斗 (市大) 4' 31" 74 |

府大 9点 阪大 9点 市大 3点

スタートとともに阪大の選手が飛び出し、府大勢は序盤に集団から出遅れる形となった。甲木（4）は、走る前に体調が悪いと言っており、レース中も表情には苦しさが感じられた。しかし、ラスト1周で驚異的なスパートを見せ、第1集団を抜かし、堂々の1位に輝いた。中野（2）は安定した走り続け、ラストスパートで前の選手を追い抜き4位となった。

文責 小槻 日出夫（2）

## 男子5000m

大会記録 14' 55" 06

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 酒井 健 (阪大) 14' 58" 23  | 2. 近田 昌志 (市大) 15' 05" 39 |
| 3. 北川 拓哉 (府大) 15' 30" 56 | 4. 有本 啓 (阪大) 15' 42" 53  |
| 5. 甲木 孝弘 (府大) 15' 44" 44 | 6. 森脇 健介 (市大) 16' 35" 81 |

府大 6点 阪大 9点 市大 6点

北川（M1）は先頭集団で走っていたが、3000mで徐々に離れ始め、一人になってからは持ち直すことが出来ず悔しい結果となった。甲木（4）は2000mを過ぎたあたりで先頭集団から離れてしまい、苦しい走りとなってしまった。両者は院生、4回生であるため練習量の減少も否めないが、今後の走りに期待したい。

文責 遠藤 耀司（2）

## 男子4×200mR

大会記録 1' 28" 32

1. 大阪大学（長野—脇田—山田—大家） 1' 29" 90
2. 大阪市立大学（木野—亀坂—田中—奥） 1' 31" 05
3. 大阪府立大学

（早川（2）—内賀嶋（3）—川越（2）—小川（3）） 1' 31" 39

府大 0点 阪大 6点 市大 3点

早川（2）から内賀嶋（3）、川越（2）と順調に1位でバトンを繋いでいったが、3走目で必死に粘りの走りを見せたが3位まで落ちてしまい、小川（3）が懸命な追い上げを見せたが3位と惜しい結果となってしまった。より練習を積み重ね、さらなる記録向上を目指していきたい。

文責 遠藤 耀司（2）

## 男子走高跳

大会記録 2m16

1. 田中 英和（府大） 1m90
2. 渡部 翔太（府大） 1m85
3. 田谷野 義季（阪大） 1m85
4. 竹澤 直樹（市大） 1m75
5. 森 拓土（市大） 1m65
6. 吉武 真人（阪大） DNS

府大 11点 阪大4点 市大 5点

走高跳は大カレに続き雨の中で行われた。渡部（4）は1m80から跳び始め、1m80、1m85と力強い跳躍を見せるも、腰が浮ききらず1m90は惜しくも跳ぶことはできなかった。田中（3）は1m85から跳び始め、1m85、1m90と安定した跳躍を見せ、優勝を決めた。その後、10cm高い2m00に挑戦するも、3本とも腰がバーを掠り跳ぶことはできなかった。しかし、1位2位を獲得し、府大に大きく貢献した。

文責 大黒 貴弘（2）

## **男子走幅跳**

### **大会記録 7m44**

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 大黒 貴弘 (府大) 6m88☆ | 2. 菅沼 佑太 (市大) 6m79  |
| 3. 西田 拓展 (阪大) 6m70  | 4. 長末 慎之介 (市大) 6m66 |
| 5. 中野 翔 (阪大) 5m91   | 6. 矢野 達哉 (府大) 5m53  |

### **府大 7点 阪大 6点 市大 8点**

矢野(3)は助走の足が合わず、本来の力を発揮できなかった。大黒(2)は自己ベストを2センチ更新する跳躍を見せ、見事一位を勝ち取った。関西インカレのA標準の6m90を惜しくも超えることはできなかったが、次の関西インカレでの標準記録突破に期待したい。

文責 仲西 穂高(2)

## **男子三段跳**

### **大会記録 15m32**

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 矢野 達哉 (府大) 14m33☆ | 2. 山中 敬雄 (府大) 13m97 |
| 3. 長末 慎之介 (市大) 13m50 | 4. 菅沼 佑太 (市大) 12m78 |
| 5. 松崎 通弘 (阪大) 12m66  | 6. 中野 翔 (阪大) 12m64  |

### **府大 11点 阪大 3点 市大 7点**

山中(4)は就活で忙しかったためか身体が万全ではない状態での出場であり、ステップと着地に苦しみ、惜しくも14m越えとはならなかったが、2位を獲得した。一方、矢野(3)はスピードに乗った助走から着地まで非常に完成度の高い跳躍を見せ、見事に自己ベストを更新し、1位を獲得した。雨というコンディションの中での自己ベスト更新に本人も喜んでいて、両者とも非常に高い技術を持っているので、今後の活躍に期待したい。

文責 大黒 貴弘(2)



## 男子砲丸投

大会記録 14m10

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 福井 康大 (阪大) 11m73  | 2. 鶴崎 晋也 (阪大) 10m91   |
| 3. 芦田 尚郁実 (市大) 10m84 | 4. 奥野 照基 (府大) 10m56 ☆ |
| 5. 田中 貴大 (市大) 9m28   | 6. 大仲 健司 (府大) 8m21 ☆  |

府大 4点 阪大 11点 市大 6点

奥野(3)は肩の不調を訴えていたが、1投目から見事、自己ベストとなる投擲を見せた。当日は天候も悪かったので、今後の更なる更新が期待できる。大仲(3)は短距離選手ながらも、奮闘したが6位という結果に終わった。練習次第で記録の更新がまだまだ期待できるので、今後の対校戦での活躍に期待したい。

文責 仲西 穂高(2)

## 男子円盤投

大会記録 40m02

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 鶴崎 晋也 (阪大) 34m46  | 2. 中澤 密 (阪大) 34m27  |
| 3. 芦田 尚郁実 (市大) 27m32 | 4. 田中 貴大 (市大) 24m18 |
| 5. 中野 友揮 (府大) 21m48  | 6. 矢野 達哉 (府大) 19m61 |

府大 3点 阪大 11点 市大 7点

両選手とも専門ではなかったが中野(2)はなんとか21m台にのせた。矢野(3)は三段跳びと競技時間が重なってしまい2投しか投げられなかったが記録には満足な様子だった。

文責 中野 友揮(2)

## 男子やり投

大会記録 62m84

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 中澤 密 (阪大) 60m65  | 2. 神田 直仁 (阪大) 58m76 |
| 3. 大黒 貴弘 (府大) 43m04 | 4. 上野 智博 (市大) 40m39 |
| 5. 保科 政幸 (府大) 40m29 | 6. 角谷 明洋 (市大) 35m81 |

府大 6点 阪大 11点 市大 4点

大黒(2)、保科(3)は共に専門外でありながら40mを超える投擲を見せた。これからの対校戦での活躍にも期待したい。

文責 北川 直昭(2)

## 女子 100m

(-0.9m)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 馬越 茉鈴 (阪大) 13" 36  | 2. 巖 恵理 (市大) 13" 47   |
| 3. 宝徳 奈津美 (府大) 13" 61 | 4. 岡澤 佑香璃 (阪大) 13" 65 |
| 5. 石飛 沙織 (市大) 13" 98  | 6. 石井 あかり (府大) 15" 58 |

府大 2点 阪大 5点 市大 3点

石井(3)は雨の影響もあってか動きが硬く、スタートから出遅れてしまい本来の走りができなかった。宝徳(2)は、100mは専門外ではあるが、中間疾走からスピード感のある走りを見せ、13"61という好タイムを記録し3位に食い込んだ。大阪インカレでの200mに続き、短い距離でも良いタイムが出せること証明したレースであった。

文責 大黒 貴弘(2)



100mを走る石井(3)(写真左端)と宝徳(2)(写真左から2番目)

## 女子800m

1. 平川 菜央 (阪大) 2' 28" 31
2. 巖 恵理 (市大) 2' 28" 80
3. 宝徳 奈津美 (府大) 2' 37" 33
4. 藤沢 祐里子 (阪大) 2' 37" 50
5. 松本 迪子 (府大) 2' 40" 81
6. 高石 真紀 (市大) 2' 48" 83

府大 2点 阪大 5点 市大 3点

宝徳(2)、松本(2)両者ともに始めの400mは後方で走って体力を温存し、残りの400mでスパートをかけた走りを見せた。宝徳は最後に阪大を抜き3位となったが松本は少し離れ、5位という結果となってしまった。両者とも専門種目ではないが、今後の活躍を期待できる走りだった。

文責 遠藤 耀司(2)

## 女子3000m

1. 藤沢 祐里子 (阪大) 11' 11" 37
2. 西田 侑以 (市大) 11' 19" 04
3. 平野 真由子 (市大) 11' 27" 92
4. 浅野 恵海 (阪大) 11' 45" 56
5. 西村 実希子 (府大) 11' 45" 67
6. 小池 徳子 (府大) 12' 23" 77

府大 0点 阪大 5点 市大 5点

西村(4)、小池(4)は序盤集団に付くも、中盤から離れ、西村は4位の選手に粘って最後まで付くが抜くには至らず、小池は一人になりながらも走り切ったが、結果は5位、6位であった。二人とも存分に練習に参加できない、またはこれからできなくなる、ということであるだけに悔しい結果となった。これからも頑張ってもらいたい。

文責 高尾 信成(2)

## 女子4×200mR

1. 大阪大学（岡澤一馬越一平川一川守田） 1' 52" 90
2. 大阪市立大学（森本一巖一石飛一高石） 1' 57" 95
3. 大阪府立大学  
（草西（3）一石井（3）一宝徳（2）一松本（2）） 2' 04" 59

府大 0点 阪大 4点 市大2点

草西（3）は100m地点で他大学の選手に離されるも、粘りの走りを見せ第二走者である石井（3）にバトンを渡した。その石井は100mでの疲れもあってか苦しいレースとなったが、スピードを落とすことなく宝徳（2）にバトンを繋いだ。宝徳はこのリレーの他3種目に出場していたが、力を振り絞って200mを駆け抜け、アンカーにバトンを託した。アンカーの松本（2）は長距離の選手であり、馴染みのない距離のランであったが、最後まで全力で走り切った。惜しくも得点を獲得できなかったが、去年、一昨年 of 三大戦よりも速いタイムを記録した。

文責 大黒 貴弘（2）

## 女子砲丸投

1. 國信 奈苗（市大） 8 m 6 4
2. 馬越 茉鈴（阪大） 7 m 6 8
3. 小西 由夏（阪大） 7 m 7 5
4. 巖 恵理（市大） 7 m 2 1
5. 宝徳 奈津美（府大） 6 m 0 3
6. 小池 徳子（府大） 5 m 2 8

府大 0点 阪大 5点 市大 5点

小池（4）は長距離選手にもかかわらず奮闘したが、6位という結果に終わった。宝徳（2）は今大会、4種目の出場であったが、その疲れを感じさせることのない奮闘ぶりを見せた。結果は5位であったが、今後の対校戦でも幅広い活躍が期待できる。女子選手は投擲を専門としている選手がいなかったため苦戦を強いられたが、練習次第ではまだまだ順位を上げられると思うので今後の対校戦での活躍に期待したい。

文責 仲西 穂高（2）

## 総合成績

### 男子対校

	大阪府立大学	大阪大学	大阪市立大学
トラック合計	26	41	26
トラック順位	2位	1位	2位
フィールド合計	42	46	37
フィールド順位	2位	1位	3位
総合得点	68	87	63
総合順位	2位	1位	3位

### 女子対校

	大阪府立大学	大阪大学	大阪市立大学
トラック合計	4	19	13
トラック順位	3位	1位	2位
フィールド合計	0	9	11
フィールド順位	3位	2位	1位
総合得点	4	28	24
総合順位	3位	1位	2位

### オープンの部

100m	谷口 裕幸	(京大・M2)	11" 33 (+0.1m)
	奥野 照基	(3)	12" 10 (+0.1m)
	岡本 真	(府大OB)	12" 05 (-0.4m)
200m	谷口 裕幸	(京大・M2)	22" 68 (+0.2m)
	中野 智典	(4)	22" 85 (+0.7m)
	高原 裕樹	(3)	24" 68 (-0.5m)
	檜本 涼	(2)	23" 90 (-0.5m)
400m	中野 友揮	(2)	52" 91
	小川 潤	(3)	53" 89
	岡本 真	(府大OB)	54" 93
800m	神農 伸治	(3)	2' 19" 93

1500m	遠藤 耀司 (2)	4' 33" 76
	佐原 敏基 (3)	4' 19" 83
	藤原 英司 (府大OB)	4' 34" 80
	野々口 諒一 (M2)	4' 30" 46

5000m	逢坂 良樹 (府大・M2)	17' 46" 09
	山下 翔平 (4)	16' 52" 17
	小槻 日出夫 (2)	16' 41" 31
	北川 直昭 (2)	16' 55" 19
	高尾 信成 (2)	17' 23" 69
	藤原 英司 (府大OB)	16' 59" 44
	木下 健次 (府大AC)	17' 30" 41

4×200mR	さみしいよ、まりえ… (北川 (M1) - 甲木 (4) - 中野 (4) - 山中 (4))	1' 38" 80
	大阪府立大学A (大黒 (2) - 樫本 (2) - 中野 (2) - 仲西 (2))	1' 36" 27

走幅跳	山中 敬雄 (4)	4m 37 (+0.0m)
	野本 健太 (3)	6m 20 (+0.0m)
	保科 政幸 (3)	6m 15 (+1.9m)
	仲西 穂高 (2)	6m 12 (+1.2m)

砲丸投	船引 規正 (府大OB)	NM
-----	--------------	----

円盤	南田 太 (府大OB)	28m 03
----	-------------	--------

やり投	南田 太 (府大OB)	38m 20
-----	-------------	--------

《応援・競技に参加して頂いたOB・OGの皆様》

山口さん、船引さん、岡田さん、南田さん、辻本さん、木下さん、雲財さん、岡本さん、松本さん、谷口さん、逢坂さん、二反田さん、野々口さん、藤原さん、小川さん、北川さん、武田さん、中田さん、乗京さん  
お忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

# 第89回関西学生陸上競技対校選手権大会

4月25日 長居周回  
5月10日、11日、12日、13日 長居第一競技場

## グランドコンディション

4月25日	晴れ	27.5℃
5月10日	晴れ	23.5℃
5月11日	曇り	17.9℃
5月12日	曇りのち晴れ	17.7℃
5月13日	晴れのち曇り	21.7℃

## 男子100m

前山 龍平 (3) 予 11" 21 (+1.3m) (3着)  
準 11" 26 (+1.0m) (6着)

直前まで足の怪我の状態が心配されたが、スタート、レース展開ともによく、全体的に力むことなくリラックスした走りを見せた。その結果、見事準決勝に進出することができた。次の日の準決勝でも、終始リラックスした走りを見せたが、結果は11" 26で決勝に進むことはできなかった。しかし両レースとも体のキレ、状態ともに十分10秒台を狙える走りだった。今シーズン、これからの活躍に期待したい。

文責 宝徳 奈津美 (2)

## 男子200m

中野 智典 (4) 予 22" 98 (+0.4m) (4着)

中野 (4) は、序盤でやや出遅れてしまい、後半で持ち前のスピードを活かして大きく追い上げはしたものの、結果としては4着に終わってしまい、記録としても自己ベストからはほど遠いものという悔しい結果になってしまった。この悔しさを忘れずに今後も練習を重ね、さらなる成長を見せてくれることを期待したい。

文責 樫本 涼 (2)

## 男子400m

松本 和也 (M2) 予 51" 22 (5着)

中野 智典 (4) 予 51" 47 (6着)

前半でいい飛び出しを見せた松本 (M2) は250m辺りまで先頭を争っていたが、後半で失速し不完全燃焼に終わったレースとなった。中野 (4) は前半から中盤まで勝負をいつ賭けるかとうかがっていたが、後半になると動きが少し重くなりスパートを掛けれず不完全燃焼なレースとなってしまった。

文責 川越 俊幸 (2)

## 男子800m

中野 友揮 (2) 予 1' 59" 54★ (7着)

1周目から先頭が59秒を出す中、中野 (2) もラップは60秒と、いいスタートを見せた。2周目に入り、集団がバラけるかと思われたがゴールまでほぼ団子状態が続いたレースであった。2周目のラップも59秒であり、大学に入って初の2分切りを見せたが、惜しくも準決勝に進むことはできなかった。しかし今シーズンに入り、スピードの面では短距離にも負けていないので、今後のレースに期待したい。

文責 宝徳 奈津美 (2)

## 男子1500m

甲木 孝弘 (4) 予 4' 02" 49 (5着)

決 4' 07" 42 (11位)

村上 将悟 (1) 予 4' 23" 45 (14着)

1500mには甲木 (4) と村上 (1) が出場した。甲木は豊富な経験からのうまいレース展開で決勝へ進出した。決勝では疲労が見え惜しくも入賞はならなかった。村上はこれが大学デビュー戦で緊張が見えたがそれなりのタイムはでたようだ。今後の活躍に期待したい。

文責 中野 友揮 (2)



## 男子5000m

甲木 孝弘 (4) 決 15' 27" 22 (19位)

甲木(4)は前半、先頭集団につき良いペースを刻んでいたが、3000mを越えてから集団から離されてしまいずるとペースが落ちていった。残り1000mに差し掛かったところで後方から選手が来たが、何とかペースを上げて持ちこたえることができた。前日に1500mを予選、決勝と走って疲れが残ったため、次回での走りに期待したい。

文責 北川 直昭 (2)

## 男子10000m

甲木 孝弘 (4) 決 34' 06" 80 (31位)

甲木(4)は序盤先頭集団についていき、良いペースを刻む。しかし、前日までの疲れのためか中盤辺りから徐々に失速して集団から離れてしまい、その後はかなり苦しいレースが続いた。ラストに上げるも悔しい結果に終わった。

文責 小槻 日出夫 (2)

## 男子110mH

内賀嶋 陽史 (3) 決 14" 53 (+1.5m) (第2位)

内賀嶋は(3)は、スタートをうまく切り、良い流れで1台目へと突入した。しかし、ハードリングが上手くいかずに流れに乗ることが出来なかった。流れが悪いままレースは進みフィニッシュでは全身を投げ出しながらゴールしたものの、惜しくも2位となってしまった。試合前の調子は良く、特にスプリントはかなり仕上がっていただけにとっても悔しい結果となってしまった。

文責 早川 哲史 (2)

## 男子400mH

川越 俊幸 (2) 予 57" 18 (6着)

川越(2)は試合前に足を痛めたせいか、前半から攻めずに落ち着いた走りをしていった。4台目までは順調に走っていたのだが、5台目で足が合わなくなった結果、リズムを崩してしまい後半は上手く走ることが出来ずにそのままゴールとなった。本人は自分を見失ったと語っており、慣れない舞台でも安定した走りをするのが新たな課題として出てきた。

文責 早川 哲史 (2)

## **男子3000mSC**

北川 拓哉 (M1) 決 9' 38" 16 (第7位)

北川 (M1) は走る前のコンディションはなかなか良いと語っており、記録にも期待がかかるレースとなった。最初の1000mを3分3秒で走り好スタートをきった。しかし、中盤にスピードが落ちてしまう。最後の水壕を越えたあたりからラストスパートをかけゴールした。7位入賞となったが、記録としてはやや物足りない結果に終わってしまった。

文責 小槻 日出夫 (2)

## **男子4×100mR**

大阪府立大学 (早川 (2) - 内賀嶋 (3) - 前山 (3) - 山中 (4))

予 41" 96☆ (3着) 府大新記録!

決 DSQ

早川 (2) は緊張もあってか少し動きが硬かったが、スピードのある走りで100mを駆け、バトンゾーンギリギリではあったが、なんとか内賀嶋 (3) にバトンを渡した。試合前、調子が良いと語っていた内賀嶋は圧巻の走りで後続の選手からリードを作り、第3走者である前山 (3) にバトンを繋いだ。事前の100mで準決勝に残った前山は勢いそのままにカーブを走り抜け、アンカーである山中 (4) にバトンを託した。バトンを受け取った時点で3位であった山中は隣のレーンの2位の選手に食らいつき、じわじわ差を詰めるも惜しくも及ばず、そのまま3着でゴールした。「府大歴代最速4継」と期待された4人は、その期待に応え見事41秒台を出し、府大新記録を樹立した。

決勝では、早川は予選とは打って変わって硬さのとれた素晴らしい走りで、内賀嶋にバトンを繋いだ。この日も調子が良い語った内賀嶋はバックストレートをすさまじいスピードで駆け抜け、前山へバトンをパスしようとした。しかし、内賀嶋のスピードが予想以上だったのか、間が詰まってしまう、バトンを落としてしまった。更なる府大記録の更新に期待がかかっていただけに、非常に悔しいレースとなった。今後このメンバーで4継を走ることがあれば、この決勝の結果を糧に再び府大記録更新を目指して頑張ってもらいたい。

文責 大黒 貴弘 (2)

## **男子4×400mR**

大阪府立大学（松本（M2）－中野（4）－早川（2）－中野（2））

予 3' 24" 12 （5着）

1走の松本（M2）は良い流れをつくるために、前半から突っ込んでいき、大きくペースを落とすことなく、2走の中野（4）へ。中野は、他の選手と競り合いつつ、最後まで粘り強い走りをみせた。3走の早川（2）は最初から思い切って突っ込んでいったが、途中でばててしまい、やや失速してしまった。4走の中野（2）は、前を走る選手を抜くために序盤から果敢に攻めていったが、ペースを上げすぎたのか、終盤で失速してしまった。目標として掲げていた決勝進出を達成できず、メンバー全員が悔しさを滲ませる結果となってしまったが、この悔しさをばねにして各人がさらなる成長を遂げることを期待したい。

文責 榎本 涼（2）

## **男子走高跳**

渡部 翔太（4） 1m90 （10位）

田中 英和（3） 2m00 （第1位！）

渡部（4）は、初めの1m80からミスがあり、調子がつかめないまま自己ベストに届かず、記録は1m90であった。最近調子が良くなってきたと語っていただけに悔しい結果となった。田中（3）はミスも少なくとんとん拍子に進み、2m00という大台をクリアしたが、2m04で惜しくも体が触れ、成功とはいかなかった。2m00より高く跳ぶと意気込んでいただけに、本人としては腑に落ちない様子であったが、結果としては第1位と府大に大きく貢献した。

文責 高尾 信成（2）



走高跳にて見事優勝した田中（3）の跳躍

## **男子走幅跳**

山中 敬雄（4） 6 m 7 7 （- 1 . 5 m） （第6位）

大黒 貴弘（2） 6 m 9 3 ☆（+ 0 . 5 m） （第3位）

大黒（2）は最初から最後まで6 m後半の安定した跳躍を出し続け、最後の6本目で自己ベストとなる6 m 9 3をマークし、見事関西インカレA標準を突破した。今後の7 m突破が注目される。山中（4）は調整不足からか、思うような跳躍ができず苦戦を強いられた。それでも6位に食い込む跳躍を見せたのはさすがである。今後も更なる活躍に期待したい。

文責 仲西 穂高（2）

## 男子三段跳

山中 敬雄 (4) 14m36 (-1.0m) (第2位)

矢野 達哉 (3) 14m23 (-2.0m) (第3位)

山中(4)は、持ち前のスピードを生かした力強い跳躍で1本目、2本目と14mを超え、3位でベスト8に進出した。ベスト8では、4本目でファウルするも、5本目で14m36を跳び、2位に浮上する。6本目はファウルしたため、結果これが最終的な記録となり、2位で競技を終えた。矢野(3)は1本目、2本目とファウルしたが、3本目できっちり踏み切りを合わせ、14m23を跳び、ベスト8に2位で通過した。しかし、4本目、5本目、6本目と納得のいくホップ、ステップができなかったのか着地までもっていき、予選で跳んだ14m23で競技を終え3位となった。2位3位と良い結果を残した2人であったが、両者とも「もっと跳べた」と悔しそうであった。

文責 大黒 貴弘 (2)

## 男子砲丸投

奥野 照基 (3) 9m57 (13位)

奥野(3)は関カレ直前にケガをしてしまい、思うような投擲ができなかった。本人も悔しがっていた。今後の活躍に期待したい。

文責 中野 友揮 (2)

## 女子400m

宝徳 奈津美 (2) 予 1'01"42☆ (7着)

比較的走りやすい気候で迎えた女子400mで宝徳(2)は前半で少し周りの選手に離される。しかし後半に入ると粘りを見せ、見事自己ベストを更新したが、本人の目標タイムには届かず悔しさが残った。

文責 川越 俊幸 (2)

## 対校得点結果

男子2部総合得点          大阪府立大   40点   第5位

男子2部トラック得点      大阪府立大   10点   第11位

男子2部フィールド得点    大阪府立大   30点   第4位

《応援・競技に参加して頂いたOB・OGの皆様》

志儀さん、山口さん、木下さん、松本さん、大林さん、新田さん、野々口さん、藤原さん、  
北川さん、武田さん、中田さん

お忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

### 3. その他の試合結果

平成23年度学連ロード長距離記録会 2月11日(土) 長居周回コース

男子ハーフマラソン 北川 拓哉(4) 1時間09分40秒☆ 歴代3位!  
甲木 孝弘(3) 1時間12分41秒☆ 歴代10位!  
北川 直昭(1) 1時間22分49秒  
高尾 信成(1) DNS

女子10Kmロード 小池 徳子(3) 43' 42

第3回学連記録会 3月18日、19日 西京極総合運動公園陸上競技場

男子100m 早川 哲史(1) 11" 57 (+1.2m)  
奥野 照基(2) 11" 93 (+0.5m)  
前山 龍平(2) DNS

男子200m 松本 和也(M1) 23" 76 (+0.0m)

男子400m 中野 友揮(1) 54" 18  
神農 伸治(2) 59" 72  
松本 和也(M1) 53" 67

女子400m 宝徳 奈津美(1) 1' 03" 58

男子800m 中野 友揮(1) 2' 05" 52  
佐原 敏基(2) 2' 05" 43☆

男子1500m 佐原 敏基(2) 4' 38" 21  
甲木 孝弘(3) 4' 06" 89

女子3000m 西村 実希子(3) 11' 26" 04  
松本 迪子(1) DNS

男子5000m 遠藤 耀司(1) 17' 31" 97  
小槻 日出夫(1) 16' 47" 27☆

女子5000m 小池 徳子 (3) 21' 27" 69

男子10000m 北川 直昭 (1) 35' 57" 70

男子400mH 小川 潤 (2) 59" 60

男子3000mSC 北川 拓哉 (4) 9' 48" 88

男子走高跳 田中 英和 (2) 1m85

男子走幅跳 大黒 貴弘 (1) 6m12 (+1.2m)

仲西 穂高 (1) 5m70 (+2.0m)

兵庫陸上競技春季記録会 4月7日 ユニバー記念競技場

男子100m 松本 和也 (M2) 12" 09 (-2.6m)

男子200m 松本 和也 (M2) 23" 70 (-0.4m)

第一回大体大競技会 4月14日 浪商学園陸上競技場

男子100m 仲西 穂高 (2) 11" 82 (+2.3m)

男子400mH 小川 潤 (3) 57" 50

川越 俊幸 (2) 56" 67

男子走幅跳 仲西 穂高 (2) 6m02 (+2.4m)

大黒 貴弘 (2) 6m86 (+1.3m)

第二回大体大中長距離競技会 5月19日 浪商学園陸上競技場

男子5000m 山下 翔平 (4) DNS

北川 直昭 (2) 16' 49" 57



尼崎中長距離記録会 5月25日 尼崎市記念公園(ベイコム)陸上競技場

男子800m 中野 智典(4) 2' 05" 73  
山中 敬雄(4) 2' 06" 70

第二回大体大競技会 5月26日 浪商学園陸上競技場

男子100m 奥野 照基(3) DNS

男子400m 松本 和也(M2) 5' 11" 11  
中野 友輝(2) 5' 2" 06

男子400mH 小川 潤(3) 5' 9" 10  
川越 俊幸(2) 5' 7" 08

男子走幅跳 保科 政幸(3) 6m 16 (-0.1m)  
野本 健太(3) 6m 46 (+1.4m)  
仲西 穂高(2) 5m 39 (+0.6m)  
大黒 貴弘(2) DNS

第一回尼崎ナイター記録会 6月9日 尼崎市記念公園(ベイコム)陸上競技場

男子100m 松本 和也(M2) 1' 11" 74 (-0.6m)

男子200m 松本 和也(M2) 2' 3" 34 (±0.0m)

男子走幅跳 大黒 貴弘(2) 6m 84 (+0.6m)

## 4. 今後の目標と反省

### 短距離パート

短距離パートは来るシーズンに向けて一人一人がしっかり考えて練習に取り組んできました。その成果もあり自己ベストをだしている選手もいます。4×100mRでは初の41秒台を出すことも出来ました。しかし、まだまだこれからだと思っています。また、一回生の若い力も入ってきてくれているので、部内で切磋琢磨しながらより高みを目指していきたいと思います。これからもどうぞ応援よろしくお願いします。

文責 短距離パート長 前山 龍平 (3)

### 中距離パート

冬期練、春合宿を終え、トラックシーズンが始まりました。今年から関西インカレの無条件枠の廃止、B標準の新設により、まずパートとしてB標準を切ることが目標となりました。標準突破のチャンスであった大阪インカレは、800mで中野(2)が標準を切ることが出来ましたが、1500mは誰も標準突破はかないませんでした。三大戦では1500mで大阪大と同点1位となりました。しかし未だに甲木(4)など上回生に頼らなければならず、パート全体の底上げが必要だと痛感しました。関西インカレは800mに中野が出場し、予選突破はなりませんでした。大学ベストを更新し、徐々に調子を取り戻している感じました。2～4回生の中距離パートは3人と少ないですが、今年は新入生が多く入り活気づいています。現在、練習はびわ湖駅伝予選会を目指す選手は長距離と、秋に中距離で結果を残そうとする選手は主に短距離としており、中距離としての練習はあまり行えていません。しかし7月の首都大戦はパート一丸となって勝ち越し、府大全体の勝利に貢献したいと思いますので、応援よろしくお願いします。

文責 中距離パート長 佐原 敏基 (3)

## 長距離パート

新シーズンに入ってから大阪インカレ、三大戦、関西インカレと3つの大きな試合が終わりました。大阪インカレでは目標どおりの結果を出せなかったものが多い中、甲木（4）が出場した3種目中2種目のベストを更新し、シーズン初めに幸先のいいスタートを切りました。三大戦では5000mで北川（M1）が3位、甲木が5位と市大とは同点、阪大には負け越しという結果でした。関西インカレは今年からB標準が設置された代わりに無条件出場枠が消えたため、例年よりも出場する選手が少なくなりました。5000m、10000mでは甲木、3000mSCには北川のみが出場し、ハーフマラソンの出場者はなしと選手層の薄さを感じました。これら3つの試合を振り返るとすべての試合で甲木一人に任せている傾向があるため、チーム全体での底上げが必要だと感じました。

長距離は10月に行われるびわ湖駅伝予選会を最大の目標とし練習に励んでいます。今年は有望な新生が多く入部したので、チームを引っ張るべき2、3回生が練習中でもより一層高い競争心を持ち、チーム全体の実力を上げて本選出場を目指します。応援よろしくをお願いします。

文責 長距離パート長 北川 直昭（2）

## フィールドパート

大阪インカレでは今年初試合という選手が多く、実力を発揮できずに終わってしまいました。この調整ミスと専門練習の少なさを改善して挑んだ三大戦では、跳躍種目では、大阪大学と大阪市立大学に大勝できました。また、今年は投擲専門の選手が不在でしたが、投擲種目も善戦したと思います。関西インカレでは走り幅跳び、走り高跳び、三段跳びにそれぞれ2人ずつという出場人数でしたが、全員表彰台、フィールド総合3位を目標に挑みました。結果としては幅では大黒（2）が2位、山中（4）が6位、高では田中（3）が1位、渡部（4）が10位、三段では山中が2位、矢野（3）が3位、総合では4位となり、ほぼ全員が入賞でき、嬉しい結果となりました。ただ、昨年と一昨年に引き続きフィールド総合4位という結果に終わったのが非常に悔しいです。フィールドパートとしては夏の大会、秋の学年別で全員が自己ベストを更新できるように一丸となって練習に励みます。今後とも応援よろしくをお願いします。

文責 フィールドパート長 田中 英和（3）